

\*議員団控室 Tel 740-1111  
\*日本共産党川西市委員会  
川西市平野2-1-3  
Tel 792-2164  
北野のり子の活動をお知らせ  
しています。

# 北野のり子だよ!



くらし・福祉をささえるまちへ  
子育て応援します



## 6月議会スタート!! (6月4日～26日)



6月議会がスタートしました。今回の一般質問は、1. 子どもの貧困問題解決に向けた対策及び子育て支援について、2. 中学校給食の早期実現についての2点を取り上げます。

1点目の貧困問題では、昨年2月、NHK総合テレビで「見えない貧困 未来を奪われる子どもたち」という番組が放送されました。2016年度、自治体や国が初めて大規模調査を実施し、調査から「新しい服が買えない」、「アルバイトで家計を支えている」など具体的な状況が可視化され、「見えない貧困」の実像に迫る内容でした。

市に於いても昨年7月、小学校5年生及び中学校2年生の子どもたち全員とその保護者を対象に「川西市子どもの生活に関するアンケート調査」が行われ、子どもの貧困状況等が明らかになりました。保護者に対する問いの回答で「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が約6割を占め、経済的負担感が切実であることを示唆されておられるものの具体的な対策が見えません。子どもが健やかに生き成長できるように既存の政策だけでなく、目標値を定め必要な新規政策を具体化するための予算措置など実効ある計画が必要だと考えます。そこで、①学習権・進学保障の対策について、②健康対策について、③すべての子どもに食のセーフティネットを創設することについて、④国の貧困対策大綱に則り学校をプラットフォームに子どもの貧困対策を行うことについて質します。

2点目の中学校給食の早期実現について2016年5月1日現在の公立中学校での完全給食実施率は、学校数で90.2%です。遅れている兵庫県下でも6割を超え阪神間での未実施は、尼崎市(センター方式でH34年実施予定)と川西市だけとなりました。

中学生は体がどんどん成長します。部活もハードになりたくさんの栄養が必要で、そんな時期にバランスのよい給食を提供することは大切なことです。貧困対策としても低所得世帯の生徒には就学援助で給食費を出すことができ、経済的負担を軽減できることから一刻も早い完全給食の実施が望まれています。

市では、2013年に「川西市中学校給食検討会議」が設置し6回に渡り様々な視点から協議を重ね、2015年3月に自校調理方式を基本に検討を進めるとし2016年度、明峰中学校をモデル校とし先行実施するため240万円の基本設計予算も計上されました。予定通り進めていけば、今年2学期から明峰中学校で実施されていたはずですが、ところが基本設計費240万円は、減額補正され2017年度センター方式検討業務委託料550万円を計上し委託調査を実施しました。しかし、その結果を公表し議会や市民に意見を聞くことなく、2018年度にPFI方式可能性調査に500万円を計上しました。保護者は、自校調理方式を望む声が高く「川西市の中学校給食は、自校直営方式で早期実現を求め」署名、6400筆が既に提出されているにもかかわらずセンター方式中心に検討を進めており、理解、納得できません。

### \*6月議会予定一覧



6月 4日(月)	開会	
8日(金)	議会運営委員会	
11日(月)	一般質問	一般質問のみ9:30スタート。 他は10:00スタートです。
12日(火)	一般質問	
13日(水)	一般質問	
14日(木)	総務生活常任委員会 総務生活常任委員協議会	
		①川西都市開発株式会社の経営状況について
15日(金)	厚生文教常任委員会 厚生常任委員協議会	
		①データヘルス計画
18日(月)	建設公企常任委員会 中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会	
		①キセラ川西整備事業の進捗状況
26日(火)	最終本会議→議員協議会	①(仮)中学校給食 実現に向けた検討状況について

市は「参画と協働のまちづくり条例の理念に則り、適宜、情報提供を行うとともに十分な説明責任を果たす。また、施策の企画立案段階において、幅広く市民の意見や提案を施策に反映できるように参画機会の確保に努める」と述べていますが、特に保育所、病院、中学校給食の進め方については、理念に則り進めているとは到底思えません。そこで、①センター方式へ方向転換をしたことについて、②「参画と協働のまちづくり条例」の理念に則り、情報提供を行うとともに十分な説明責任を果たすことについて、③川西市中学校給食推進基本方針の方策に則り自校調理方式を基本に実施することについて質します。



### \* 請願

- ◆川西市の中学校給食の早期実現を求める請願
- ◆(仮称)川西市立総合医療センターの「基本構想」策定後、すみやかに市民説明会と意見を聞く場を設けることを求める請願
- ◆「小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書